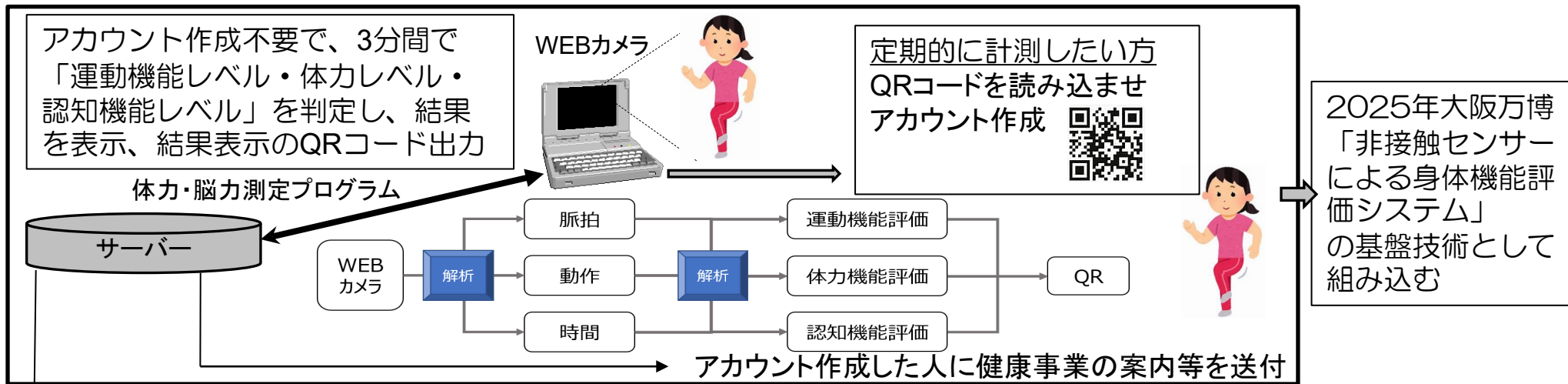


データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発

誰でも利用できる非接触WEB体力・脳力測定システム開発による自治体と連携した健康事業参加者のすそ野拡大

研究概要：WEBでの登録要件を極力簡易にし、誰でも利用できる体力・脳力測定プログラムを、動作分析のAI技術・脈拍検知技術を用いて開発し、体力・脳力の測定結果を本人にフィードバックすることで、健康事業への関心を高め健康事業参加者のすそ野拡大を目指す。実証実験として、大阪府下の市と連携し、成人への体力・脳力測定プロジェクトを実施し、健康事業への新規参加者の拡大と体力・脳力改善効果の検証を行う。



クラウドにて、身体機能評価システムのデータベース構築し、
個人情報に配慮したオープンデータにより多面的に利活用を図る。

- 健康関心層と健康無関心層の比較データ分析により、健康無関心層への生活改善意識向上の方策立案
- 自治体の健康増進政策への反映
- 企業等への利活用の促進（社員の健康維持向上策立案、データ提供による商品開発サポート）
- 利用者拡大による医療費削減効果の発現 → 地域・社会の健康増進課題解決、ウェルビーイングの実現への貢献

【研究開発期間】 令和4年度から令和6年度まで

【受託者】 学校法人関西医科大学（代表研究者）、コガソフトウェア株式会社